

オーバーヒート(水温警告灯が点灯)

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温警告灯が点灯している
- 走行時の加速が急に悪くなる

このようなときは直ちに安全な場所に車を停めて次の処置・確認を行ってください。

アドバイス

オーバーヒートの状態で走行を続けると、エンジン故障の原因となります。

長時間のアイドリングにより、水温警告灯が点灯する場合があります。

オーバーヒートの処置

1. メインスイッチを **○** (Off) にしてエンジンを止め、再度メインスイッチを **■** (On) にする。
2. ラジエーターの冷却ファンが作動するか作動音で確認し、メインスイッチを **○** (Off) にする。

冷却ファンが作動しない場合

故障が考えられますので、エンジンをかけず Honda 販売店にご相談ください。

冷却ファンが作動している場合

メインスイッチが **○** (Off) の状態で、エンジンが冷えるのを待ちます。

3. エンジンが冷えてから、リザーバータンクの冷却水を点検し、冷却水が不足していたら補給する。➡ P. 52, 53
4. ラジエーターホースなどを点検し、水漏れがないか確認する。

水漏れがある場合

エンジンをかけず、Honda 販売店にご相談ください。

5. 水温警告灯を確認しながら走行する。
 - ▶ 異常が無ければ走行可能ですが、異常が再発しない場合でも、なるべく早く Honda 販売店で点検を受けてください。